

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成22年5月現在、121団体が加入しています。

今回は直近の活動と今年度の取組予定についてご紹介します。

【第7回RACフォーラム】

～川でのリスクマネジメントに関する全国フォーラム～

川の体験活動に限らず、事故を未然に防ぐため、事前の準備、日常的な研鑽はとても大切です。今回のRACフォーラムでは、湖沼におけるカヌー体験時のリスクマネジメントに特化し、1月23日・24日の2日間にわたって、千葉県立小見川少年自然の家（千葉県香取市）をメイン会場に研修会を行いました。参加者約50名。

1日目の話題提供として、実際にダム湖で営業している高橋秀則さん（レイクウォーク）より、安全対策等についての取組みを紹介頂きました。また北牧正之さん（国土交通省河川局河川環境課）に管理者の立場からダム湖の利活用についてお話頂き、国の方針としてはダム湖を積極的に利用してもらいたいというスタンスであることが紹介されました。ダム湖は河川なので基本的には自由使用ですが、ダムの維持管理や安全などの問題があり、航行禁止区域が設定されている箇所があるとのことでした。

その後分科会に分かれての具体的なテーマについて検討を行い、課題や工夫点などの共有を行いました。

その他、Eボート指導者講習会も当フォーラムに含めて開催しており、Eボートの取り扱い方法やメンテナンス方法のほか、基本的な操船の方法などについて実習を行いました。今年度のRACフォーラムは平成23年1月下旬に開催予定です。

【水辺のひやりはっと事例検索サイト】

RACでは平成15年度より川の指導者養成講座受講者の協力を得て、水辺でのひやりとした経験についての事例を収集しています。その事例を検索できるサイトが河川環境管理財団の事業として昨年構築されました（「水辺のひやりはっと」で検索するとトップに表示されます）。当初の事例件数は約800件あ

りましたが、近日1,000件を超える予定です。皆様の川での安全な活動に向けて是非ご活用ください。

【全国一斉1万人・川の流れ体験キャンペーン 2010】

昨年度より新たに展開している事業ですが、ライフジャケットを着けて川の流れを体験することを通じて、水辺の安全利用を普及することを主な目的として実施しています。昨年度は全国22箇所で開催され、延べ1万人を超える方々が当キャンペーンに参加しました。楽しい体験と一緒にゴミ拾い等川をきれいにする活動も行っています。今年は実行委員会形式で開催します（詳細は6月中旬に掲載予定）。昨年度の活動の様子はRACのHPに掲載していますので、是非ご参照ください。



【今年度の川に学ぶ体験活動全国大会について】

当大会は「川に学ぶ」社会形成や川での体験活動を普及することを主な目的として、平成12年から年に1度開催しているものです。平成22年度は、鹿児島県薩摩川内市・川内川等をメイン会場にして10月9日（土）・10日（日）・11日（月）に開催します。10月8日（金）にはプレ講座も開催の予定です。全国各地の川に学ぶ先進的な事例の発表会や、鹿児島ならではの様々な体験イベントも計画されています。

川での体験活動が初めての方、ご家族連れの方でも川で遊び・川に学ぶ体験をすることができます。是非観光を兼ねてお気軽にご参加下さい。

＜NPO法人川に学ぶ体験活動協議会＞

東京都中央区新川 2-10-6 カヤヌマビル703号
TEL.03-5542-7577 FAX.03-5542-7578
<http://www.rac.gr.jp>